



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

# Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30  
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583  
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)  
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2015年3月10日

2014-2015/32

## Vol.36

No. 1732

hp: <http://naraomiya-rc.jp>  
 E-mail: [info@naraomiya-rc.jp](mailto:info@naraomiya-rc.jp)  
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



### 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

## 本日のお客様

- ・山本 真菜 様 (RID2650地区ローターアクト代表エレクト)
- ・服部 亘 様 (奈良RC)

## 会長報告

本日第9回定例理事会がございました。その中の審議事項につき、ご報告致します。

- ・社会奉仕委員会、職業奉仕委員会で合同開催致しましたキリン工場見学について、決算の了承を致しました。
- ・第2回情報集会のまとめ、この後の地区大会に向けてのクラブ協議会で副会長から発表して頂きます。
- ・植村会員の職業分類の変更について、現在「キルト加工」という分類になっておりますが、「業務用寝具製造販売」に変更する事を了承致しました。
- ・本年4月から来られる米山奨学生のカウンセラーについて、水野さんになって頂くことに決定いたしました。

以上でございます。ありがとうございました。

## 委員会報告

### 親睦活動委員会

第三回の親睦ゴルフコンペを4月16日(木)新奈良ゴルフクラブにて開催したいと思います。沢山のご参加、よろしくお願い致します。

### ローターアクト地区代表エレクト 山本 真菜 様

ご紹介に預かりました地区ローターアクト代表エレクトの山本でございます。貴重なお時間有難うございます。

## 例会プログラム

第33回3月10日  
 通算1732回

1. 開会の点鐘
2. ソング  
「それでこそロータリー」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話  
紫川流日本明吟会総本部  
副会長 藤本紫滔様  
「詩吟と共に」
6. 閉会の点鐘

## 例会状況報告

第32回 3月3日  
 通算1731回

◎会員数 79名  
 ◎出席規定免除者数 2+25名  
 ◎出席義務者数 52名  
 ◎欠席者 10名  
 ◎出席者 61名  
 ◎出席率 85.92%

第30回 2月17日  
 通算1729回の修正

◎会員数 79名  
 ◎出席規定免除者数 2+25名  
 ◎出席義務者数 52名  
 ◎欠席者 9名  
 ◎補填者 2+7名  
 ◎出席者 70名  
 ◎出席率 97.22%

今年、6月6日ローターアクト地区大会前夜祭、7日地区大会本大会  
がございます。お忙しい時期かと思いますが、ご登録、どうぞよろしくお願い致します。また、  
昨年9月に卓話の機会を頂戴致しまして、お手元にローターアクトに関するアンケートを配  
らせて頂いております。最後に回収させていただきますので、ご協力の程、どうぞ宜しくお願い  
致します。

## 高野副幹事

本日クラブ協議会終了後、次年度理事会を上の桐の間で行いますので、皆様御出席頂きますよ  
う宜しくお願い致します。

## 幹事報告

- ・本日例会終了後、地区大会についてのクラブ協議会を行います。お忙しいと存知ますが、必  
ずご参加ください。
- ・武藤会員は、先週2度目の手術が無事終了され、術後の経過も順調で、3月5日、退院予定で  
す。
- ・県下ロータリアン名簿が完成したので、状差しに入れてあります。各々、ナンバリングがし  
てあり、個人情報満載ですので、取扱いには十分、ご注意ください。
- ・先週来られた太宰府RCから、お土産にお菓子を頂戴しました。1個ずつですが、食後にお  
召し上がりください。

## 卓話

RI3360地区 チェンライRC 原田 義之 様  
「輝く瞳に会いに行こう」



私は現在タイ国立ダムロン高校で日本語教師をしております。そして週末の土、日曜日はミヤ  
ンマー、ラオス、タイの国境際にありますワーヴィー村でアカ族の子供の家「夢の家」で識字  
の支援活動をしています。そしてR I 3360地区チェンライRCの会員でもあります。今から3年  
前の2012年4月に2680地区高砂青松RCから移籍をいたしました。移籍をした2ヶ月半後の理事会  
におきまして会長エレクトに選ばれました。従って今年の6月までチェンライRC第47代会長を  
務めました。タイのロータリー史上日本人の会長は初めてです。本日は貴重な時間を頂きまし  
て次の4点についてお話しさせていただきます。1点目、ミャンマー、ラオス、タイの国境際の  
ワーヴィー村で我身を移しての交際奉仕の日常。そして貧困な生活環境であっても明るく生き  
るアカ族の子供たちの修学事情。私の7年間の識字向上の体験からロータリーが出来る識字向

上奉仕。貧困者の自活サイクル支援。こんな話をさせていただきます。  
簡単にタイについて説明いたします。首都はバンコク。そして北に650kmに第2の都市チェンマイがあります。私がおりますチェンライそこからさらに230km北に行った所です。そのチェンライからミャンマー、ラオス、タイの国境の町メイサイまでは60kmになります。それでは私がなぜ北タイに関わったかについてお話をさせていただきます。今から22年前、日本経済はバブルが崩壊いたしました。私の経営する会社もコストダウンを求められタイに工場進出をいたしました。高砂青松RCに入って5年目です。WCS委員長予定者となっております。私はバンコクのホテルでテレビを見ていたらチェンライの子供たちがバンコクのNPO方々から図書の寄贈を受けている姿を観ました。引率の先生は農民服を着ており、子供たちはボロ服、裸足でした。しかし図書を受け取る子供の笑顔と瞳は素晴らしいものでした。私はこの映像を観た時に、越後・長岡藩「米百俵の話」が脳裏に浮かびました。皆さんご存じの通り幕末期に長岡藩は北越戦争に敗れ、支藩から百俵の米を受けました。藩士たちは困窮のあまり米の分配を申し出ました。藩主小林虎三郎は「百俵の米も食べればなくなる。教育に当てれば、一万俵にも百万俵にもなる」と米を売却し学校を建てました。早速、週末にバンコク空港から830km離れチェンライに行きました。今から22年前、携帯も情報もありません。空港に降り立った私はタクシーの運転手にこの町で一番古い有名なホテルに連れて行ってもらいました。私はフロントで「日本から来たロータリアンです。社長に会いたい。」と申し出ました。すると社長はまるで10年来の友達のように強く握手をし、私の話を聞いてその日の夜には会長以下7名のメンバーを集めました。以来、北タイでの活動が始まりました。私は現在ロータリーに入って27年目です。この直径わずか12mm、重さ50g足らずのロータリーバッチの重みをこの時ほど感じた時はありませんでした。そして15年間北タイ36校に図書を寄贈いたしました。15年目の折り、図書の贈呈式にアカ族の青年のアリヤさんが子供を連れていきました。彼は私が初めてチェンライに行った時にチェンライRCが通訳として連れてきた青年です。その3年前に彼はタイの農民代表としてアカ族の青年ですけども九州に一年間の農業研修に来ました。しかし、今から25年前の九州の農家は「タイ人じゃないのか。アカ族か。」そんな理由で三度の飯も十分に与えられなかったそうです。アリヤさんは北タイに戻りアカ族の子供達に同じような被害を味あわせたくないという理由で学校の近くで寮の運営をしています。彼は私のところに来て「原田さん。今晚ホテルへ訪ねていいですか？」彼とは15年ぶりの再会です。彼はホテルに来るなりアカ族の子供を助けて欲しいと懇願されました。私はチェンライで22年前に豊田武雄さんという方に出会いました。彼は5年前に新聞記者として北タイに来ました。そこで見たのはお金とは無縁な子供の輝きと幸せな顔でした。日本に帰り奥さんと相談し家族三人でチェンライに移り住みました。彼はよく私にこんな事を言っていました。「原田さん。本を子供たちに持ってくるのは素晴らしい奉仕です。でも現地で貧困と子供たちとに目線を合わせた時、子供たちはその奉仕をしたものにきり見えない素晴らしい玉手箱を開けるんです。」  
この話を聞いた私は当時神戸の会社やバンコクの工場がどうなるのか頭がいっぱいで彼の言っている意味がわかりませんでした。しかし15年図書を寄贈しアリヤさんの涙を見た時、私は重大な決意をしました。それは今から7年前です。私は現在71歳です。64歳の時にアリヤさんの涙を見て、ロータリーに入って20年間、奉仕の心と言い続けました。これまでの「実業人生」から「奉仕人生」を送ろうと決意しました。そして北タイで平日は日本語のボランティア教師として、週末にアカ族の子供たちを助けようとなりました。昼間は兵庫県国際協会主催の日本語教習に通い、全教程を終了させ教える資格を取りました。そして夜はタイの教室に通い、タイ語で子供たちに日本語を教える自信をつけて北タイに行きました。64歳の手習いです。アカ族夢の家の最前線の町はチェンライという町です。そこには日本語学科のある国立ダムロン高校があります。アカ族の話になりますが、今から800年前、中国の平野部におりました。日本の歴史で約750年前の1274年日本は蒙古襲来を受けました。同様にアカ族も平野部におり蒙古の襲撃を受けました。そしてチベット山中に一族は逃げました。彼らはそこで身に付けた生活手段が焼畑農業でした。そして今から400年前は雲南省、100年前には北タイに移住しました。80年前の第二次世界大戦の結果、国境が出来ました。移住できません。焼畑農業も禁止され、回遊民族800年のアカ族にとって死の宣告に等しいものでした。そしてアカ族に対するマイノリティーは今でも続いているのです。アカ族の農民が焚き木をすれば逮捕されます。アカ族の子供が川で泳ぐと魚が浮くと言われました。識字率向上を我々はやっています。私はその最前線に行って子供たちを助けています。夢の家のオイ君は成績優秀でタイの軍隊に入りました。アリヤさんの話によるとアカ族であるという理由で生涯PKOの最前線の派遣を命じられるそうです。

タイはミャンマー、ラオス、カンボジア全て山伝いの国境です。2800kmあります。そして少数民族は山沿いに集落を作って生活しています。アカ族も山沿いに住んでおり、タイ語は話せ

ません。この人たちは、いつどのようにして母国語タイ語を学ぶのでしょうか。その前にタイの農業についてお話しします。2年前バンコクで大洪水がありました。かつて山田長政はバンコクから100km奥のアユタヤに上陸しました。何とその先300kmアユタヤまでタイは平野です。最も農業に適した地形をしています。米の生産、輸出は世界1位です。だから洪水が起こると、あのような状態になるのです。タイの農民は月に5万円の収入を得ています。さてアカ族の農作地は、山の急斜面に竹の筒で穴を開け、その竹の筒に米を落として陸米を栽培しています。従って一家族働いて月に1万円にもならない収入です。話は戻りますがアカ族の子供はどうやって母国語タイ語を学ぶのでしょうか。このような山の集落から50km麓に下りますとタイ政府の学校があります。アリヤさんは、ここに寮を構えて50km離れたアカ族の子供たちを預かって自分のお金で子供たちを学校に通わせていました。その支援が出来なくなったので、私はこの子供たち25人を助けています。

識字率という言葉をご存知でしょうか。15歳以上の女性がどれくらい母国語を話せるか。タイ国は92.8%で世界でも非常に識字率が高い国です。ユネスコ2008年の調査によりますと、パプアニューギニアの識字率は52.6%で、どんな問題が起きているかと言うと、一人の婦人が産む子供の数は4.5人です。世界には識字率が低い国は沢山あります。この人口問題は食糧問題を、食糧を生むためにエネルギーを必要とし、エネルギーは環境を破壊します。だからユネスコも我々ロータリークラブも識字率を上げようとしており、上げる事によって人口が減っていきます。さてタイ人であるアカ族に限っての識字率を調査すると、いま預っている25人のお母さんの学歴を調べました。小学校4年までに中退のお母さんは9名、中卒2名、小卒3名、残る11名は無修学です。母国語のタイ語を見た事も、聞いた事も、話した事もないのです。25人中14人はかろうじて学んでいます。従って識字率は56%なのです。さて、学ぶ事の出来なかった子どもたちは、やがて14~5歳になればチェンライの町で働きます。日当800円で働くのです。しかし、この地域は麻薬取引地帯です。先程、私はチェンライから国境まで50kmと話しました。その間に検問所は3カ所あります。労働に耐えかねた子供たちはやがて家族を楽にさせたいという思いから麻薬の運び屋をやるのです。女子は身を売られ、バンコクやプーケットに連れて行かれ働かせるのです。やがて20歳になれば、この子供たちは体にエイズを身につけてしまいます。この20歳になった娘は、1000km離れた北タイの母親を訪ねて帰るしかありません。チェンマイにエイズの療養所があります。なぜそこにあるかと言うと、せめてこのような娘さんのために最後の安らぎの場としてあるのです。識字率を上げる、識字の重大性を知っていただけでしょうか。この子供たちに識字向上支援をどうでしょうか。アカ族の子でも学ぶために三度の食事はします。私はこの子供たちに1日15バーツ（55円）で食事をしてもらっています。ワンコインで9人の子供が支援する事が出来ます。識字に目覚めた子供は、1本の鉛筆、1冊の本を欲しがるのです。昨年7月12日マララさんは国連で演説をしました。「一人の子供、一人の教師、一冊の本、一本のペンでも世界は変えられる。教育こそが、ただ一つの解決策です。」

私に「タイ国政府やタイ国民が何故支援しないのですか？」と質問が有りました。この質問に私は「奉仕の蛇口を現地の貧困者に向けています。その下に貧困が口を開けて待っています。その国、国の人たちが支援しないからと言って、奉仕の蛇口の栓を止める事が出来ない」と答えます。また「あなた一人が、北タイに行ってどれほどの役に立つのですか」と質問されます。そして私は「太平洋でもたった一滴の水から成されているではありませんか。世界平和も一人一人の小さな奉仕の心で育まれているのではないのでしょうか」と言い切ります。私一人が8年前に北タイに入りました。以来、国内のロータリーから支援を受けました。おかげさまでアカ族の子供250人、450人の身体障害者、人口1200人のアカ族の村を救う事が出来ました。2770地区グローバル基金を使ってワーヴィー村1200人に水を届けました。800年間、雨水を使っていたアカ族にとって蛇口を捻って飲める水は素晴らしいプレゼントでした。

話は変わりますが、2006年度ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌスは「貧困は貧困者自らが踏み出したものではない。歴史の許した支配者、社会制度、国家が生み出したものである」と言いました。単発的な施しではなく持続可能な生活サイクル支援こそ貧困を救います。私は2年前に子供たちに畑と苗と鍬を与えました。現金収入が入っても、私が支援に行けなくなっても、子供たちが母国のタイ語を学び続けられる環境を整えるために支援をします。私は再び今年20日から北タイに入ります。それはアカ族の子供たちを麻薬、売春、エイズキャリアの悪の予備軍にはさせたくない思いであります。我が子や孫の時代により平和な世界を遺そうとするならば、とても地道ですが、確かな道は母国語取得困難な途上国の次世代の若者に識字教育支援をすることであると確信しています。私71歳、これからも一日本人、一ロータリアンとして行動で国際奉仕をして参ります。27年前にロータリークラブと出会い奉仕の大切さと素晴らしいさを知りました。私に使命感がある限り生涯ロータリアンとして生涯現役で貧困最前線で国際奉仕をして参ります。ご清聴有難うございました。



ニコニコ箱

本日計 67,600円 累計 2,024,300円

- 服部 亘 様 (奈良RC) 本日は地区ローターアクト次年度代表エレクトの山本が地区ローターアクトの地区大会のご案内を申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。
- 福本良平 君 原田様 本日の卓話よろしくお願ひ致します。  
 高野 治 君 原田様、本日の卓話宜しくお願ひいたします。  
 麴谷瀨君・飯田二昭君・小池恭弘君・楠原忠夫君・北神徳明君・高辻良成君  
 太宰府ロータリークラブとの友好を祈念して
- 土谷宗一 君 中井先生 大変御世話になりました。  
 金星 昇 君 黒川徹先生の「百歳時代の健康」書ありがとうございました。  
 山本直明 君 結婚記念日のお祝いのお花、ありがとうございました。  
 藤井正勝 君 次年度ローターアクト会長山本真菜様に感謝してニコニコ！！  
 野崎隆男 君 先週は欠席しまして申し訳ありません。ニコニコに協力です！  
 矢追家麻呂君 例会欠席のお詫び
- 宮西正伸 君 ニコニコ協力  
 潮田悦男 君 ニコニコ協力  
 門脇伸幸 君 ニコニコ協力  
 中奥雅巳 君 ニコニコ協力  
 森 完二 君 ニコニコ協力  
 市田富久夫君 ニコニコ協力  
 河野里志 君 ニコニコ協力  
 西口栄一 君 ニコニコ協力  
 山口尚紀 君 ニコニコ協力  
 森山斗福 君 ニコニコ協力

## 例会変更のお知らせ

### 3 月

■大和高田ロータリークラブ ■  
・3月17日（火）・・・定款第6条第1節（C）により、休会。  
※ビジター受付は行いません。

■奈良西ロータリークラブ ■  
・3月19日（木）・・・定款第6条第1節（C）により、休会。  
※ビジター受付は行いません。

### 4 月

■奈良西ロータリークラブ ■  
・4月9日（木）・・・早朝例会の為、会場変更  
※ビジター受付：同日17：30～18：00まで、奈良ロイヤルホテル  
1Fフロント横にて行います。  
・4月30日（木）・・・定款第6条第1節（C）により、休会。  
※ビジター受付は行いません。

■大和郡山ロータリークラブ ■  
・4月13日（月）・・・定款第6条第1節（C）により、休会。  
※ビジター受付は行いません。  
・4月27日（月）・・・家族例会の為、時間・場所変更  
18：30より 京都「木乃婦」にて  
※ビジター受付は行いません。

### 次週の例会

平成27年3月17日（火） 休会

平成27年3月24日（火）

会員卓話 南谷 正仁 会員

演題 「相続税法の改正とその対応」